

悲しみをあたたためて

薬王山東昌寺住職
飯島恵道

自己紹介



松本市 東昌寺 15代住職
前職看護師
諏訪中央病院（長野県茅野市）

内科→地域ケア室訪問看護
→緩和ケア病棟

NPO法人アルウィズ理事
ケア集団ハートビート代表
松本十二薬師をめぐる会代表
有明高原寮教誨師

NPO法人アルウィズ

ALWAYS(いつでも)+WITH(いっしょに)+
EASE(ゆったり)を
組み合わせた造語



認知症対応型デイサービス

法人理念

私たちは生活支援の便利屋として、
地域の方々と協働し、
まちづくりに参加します



アルウィズとの出逢い

きっかけはM理事長との出逢い
(理事長は大学院の先輩)

スタッフと共に、栃木県のゆいの里見学へ

帰りの車の中で、「一緒に、お寺を拠点とした、地域づくりイベントしよう！」と盛り上がる

東昌寺を会場としたサーカス **「送り火の道化師」**
の実現

送り火の道化師

お盆
お盆は、死者の霊が冥途へ帰る時、先祖の霊を慰めるため、お盆に飾りつけをします。

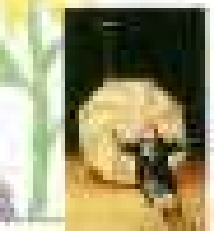


お盆の行事は、お盆の期間中に、お盆の行事を行います。お盆の行事は、お盆の行事です。

お盆の行事

お盆 17:00-18:00
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。

お盆 17:00-20:00
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。



お盆 18:00-19:00
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。

お盆 18:00-19:00
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。



お盆 19:00-20:00
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。

お盆 19:00-20:00
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。



お盆
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。

お盆
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。

お盆
お盆の行事は、お盆の行事です。お盆の行事は、お盆の行事です。



ケア集団ハートビート



ケア集団ハートビート活動の柱

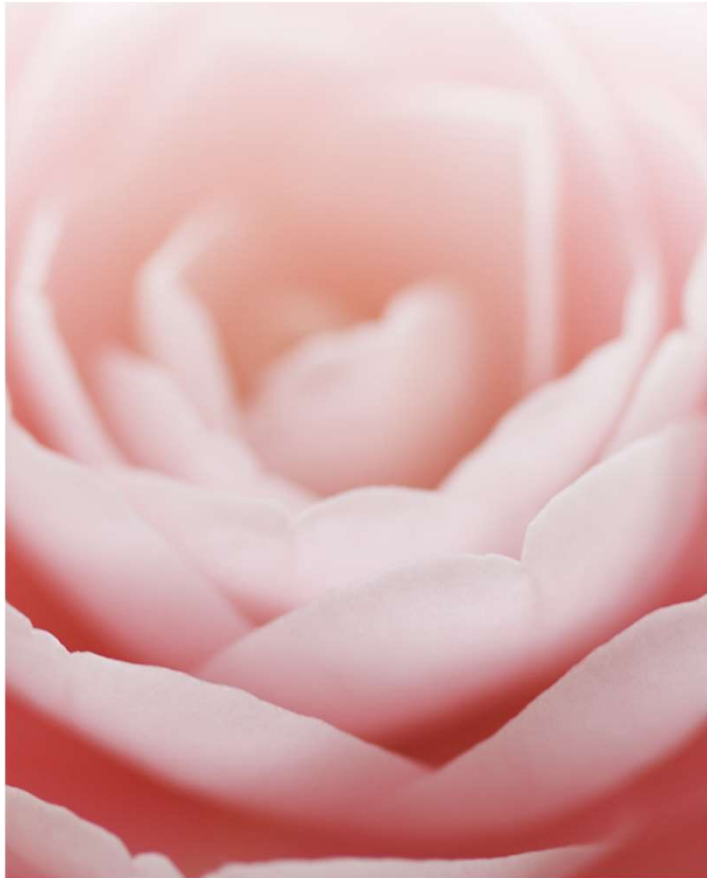
- 信州で、誰もが有意義な人生を送るために必要な支え合いを考え、育む
 - 誰もが避けられない死や死別をみすえ、健康や人生について考え語り合う場を作る
 - 地域社会で協力し合って「生老病死のトータルケア」の実現をめざす
- 社会内グリーンケア・サポートの推進・実践をめざす

グリーフとは ⇒ 深い悲しみ

- 自分にとって大切な他人を亡くしたり、ものを失うことで、生まれてくる反応・感情・プロセスの事。
- 狭義では「死別による悲嘆」とされるが、グリーフは死別の悲しみのみではなく、家を失う、引越しや転校をして親しい人と会えなくなってしまう、様々な理由で人間関係が変わってしまうなど、あらゆる喪失体験をした時に感じるものもグリーフといえる。



深い悲しみは・・・



心理的
身体的
社会的
認知的
スピリチュアル的

悲しみを抱える人の実存の様々な側面に影響を与える

悲しみを抱える人の生活全般に影響を与える

深い悲しみを抱えることになる出来事の後では、

それまでの生活と全く同じ生活ができなくなることも多い

グリーフケアの目的(1)

- 1) 安心して泣ける場をつくり、連帯感情を育てる
- 2) 十分に痛みを分かち合うために、安心して弱さをさらけ出し、他者に語ること
- 3) 語る作用＝共感と社会参加への第一歩
- 4) ナラティブ的な傾聴と外在化

外在化:

当事者自身の問題であっても、人と問題を切り離し客観化し、問題を外側に置き、あたかも第三者の目で問題を見るようにすること。

『ナラティブによるグリーフケアのためのグリーフカウンセリング』¹¹
水野治太郎著 千葉県とうかつ「生と死を考える会

グリーフケアの目的(2)

- 大切な人の死そのものをどうとらえるかという問題だけではない
- 遺族は、現実生活の困難や、今後の人生設計など、故人亡きあとのこれからの生活や人生をどう立て直してゆくかという課題にも直面する
- 故人のいない新たな生活や人生の再出発を後押しすることも、グリーフケアの目的と考える

坂口幸弘『死生学のフィールド』

放送大学教材P190

グリーフは・・・

グリーフはおかしなことでは
ありません

Grief is normal.

誰もが体験しうること

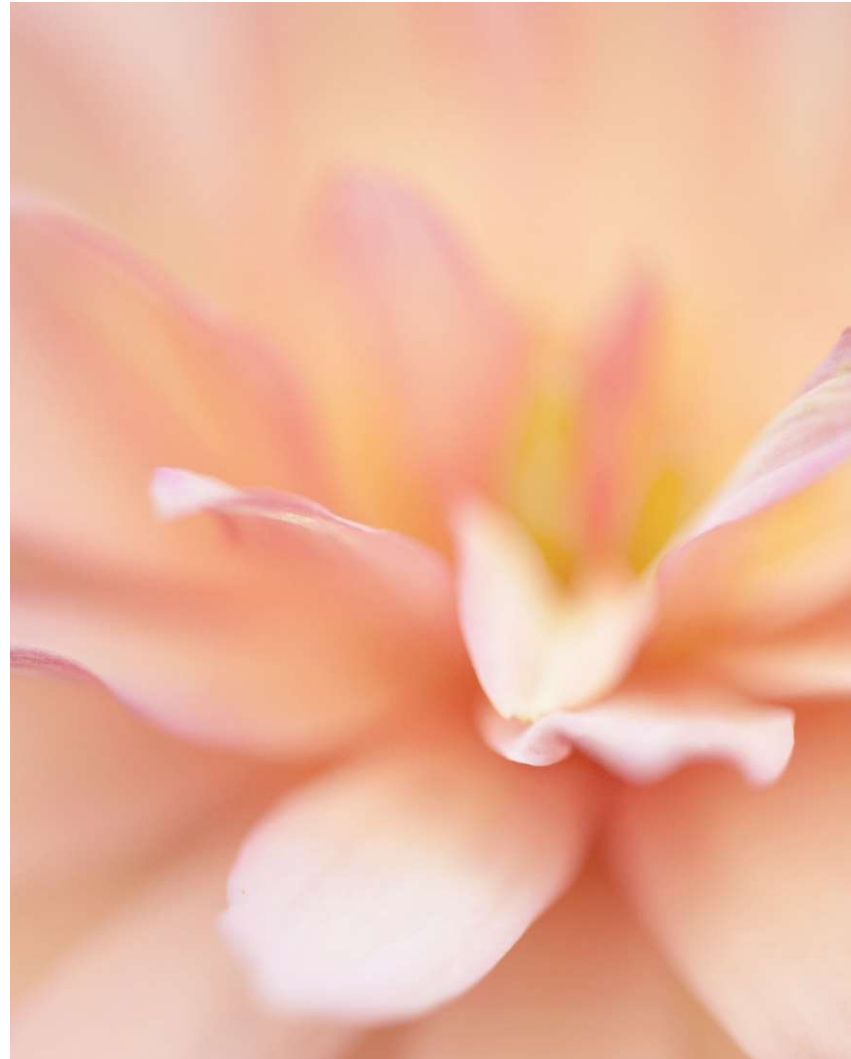
であるが悲しむことは多くの
場合、多くの場面で、公認
されていない

**「泣いてはいけない」「苦し
みを外に出すな」の呪縛**

「弱音」をはけない社会

**悲しみや苦しみを抱えた人
が生き苦しい社会**

心があったかくなれない社会



楓の利用者Oさんのご家族の死

認知症対応型デイサービス「楓」の利用者Oさんの

息子さん(50才代)が他界
Oさんの介護者は娘さん

ご自宅に搬送され、葬儀業者さんにより、枕飾りが整えられた

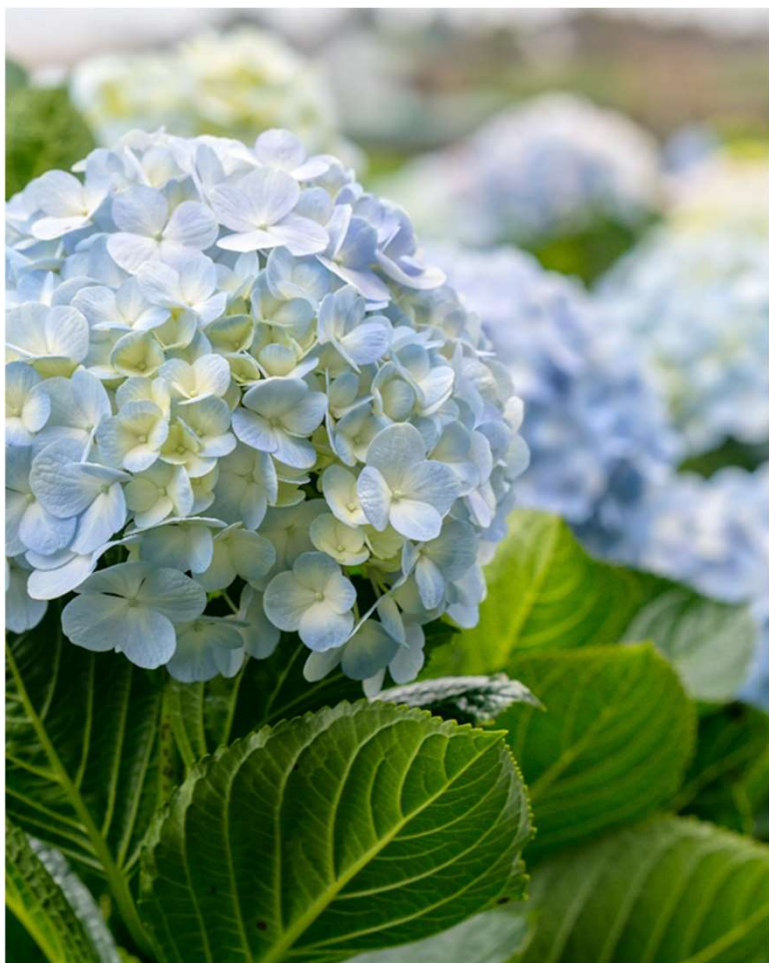
Oさんは、はじめのうちは、亡くなったことを理解していた

しばらくすると、息子さんに「起きなさい、食べなさい、食べないと死んじゃうよ」と話しかけ、アイスクリームを食べさせあはじめた

**認知症の症状が強く発現
理解力の低下と混乱が錯綜**



〇さんのご家族の死



その姿を見た娘さんが、〇さんを止めようとしたが、どうやっても止められず

介護者である娘さん、心身共に限界に

楓に、娘さんから、相談の連絡がはいる

飯島に、業者さんから、相談の連絡がはいる

楓から飯島に相談の連絡がはいる

飯島が、菩提寺さんの代理で枕経に伺い読経供養

(菩提寺様は遠方の御供養に出向いていたため不在)

〇さんは、静かに手を合わせお参りしてくださっていた

〇さんの混乱とグリーフを取り巻く状況の整理

その時の〇さん

認知症・・・症状の発現の触れ幅が大きい状態

息子の死・・・症状の発現の触れ幅を大きくした要因となった

娘さん

兄の死に伴う諸々の手配に加え、母親のケアもあり、いつ倒れてもおかしくない状態

相談先・・・楓 業者さん 飯島

直接的・間接的に、顔見知り



〇さんのご家族を支えたのは・・・

顔見知りによるケアの連携

施設内にとどまることなく、自分たちが営む施設がある地域に目を向け、積極的に地域の行事などに参加した結果、地域に顔見知りが増えた



施設に対する理解は、認知症・認知症を抱えた人々に対する理解につながる

知っているから親しみを持てる

知っているから話しかけられる

知っているから安心できる ほっとできる 心がHOTになる



認知症を抱えても安心して生きられる地域へ

地域づくり・ケア・支援

ケア集団ハートビートの目指すところは、
グリーフケアを提供しうる地域づくり

アルウィズが目指すものは、認知症の方が安心して過ごせるま
ちづくり

両者とも、個対個のケアにとどまらず、ケアを取り巻く環境づくり、
社会づくりを射程にいれ、活動を組み立てている

社会全体が、ケアに対するさらに理解が進めば、ケアの専門家
ではなくとも、ケアや支援を必要としている人に対する意識が
向くようになり、「**ケアしあい、されあう社会**」が実現可能となる
のではないか。

ケアしあい、されあう社会

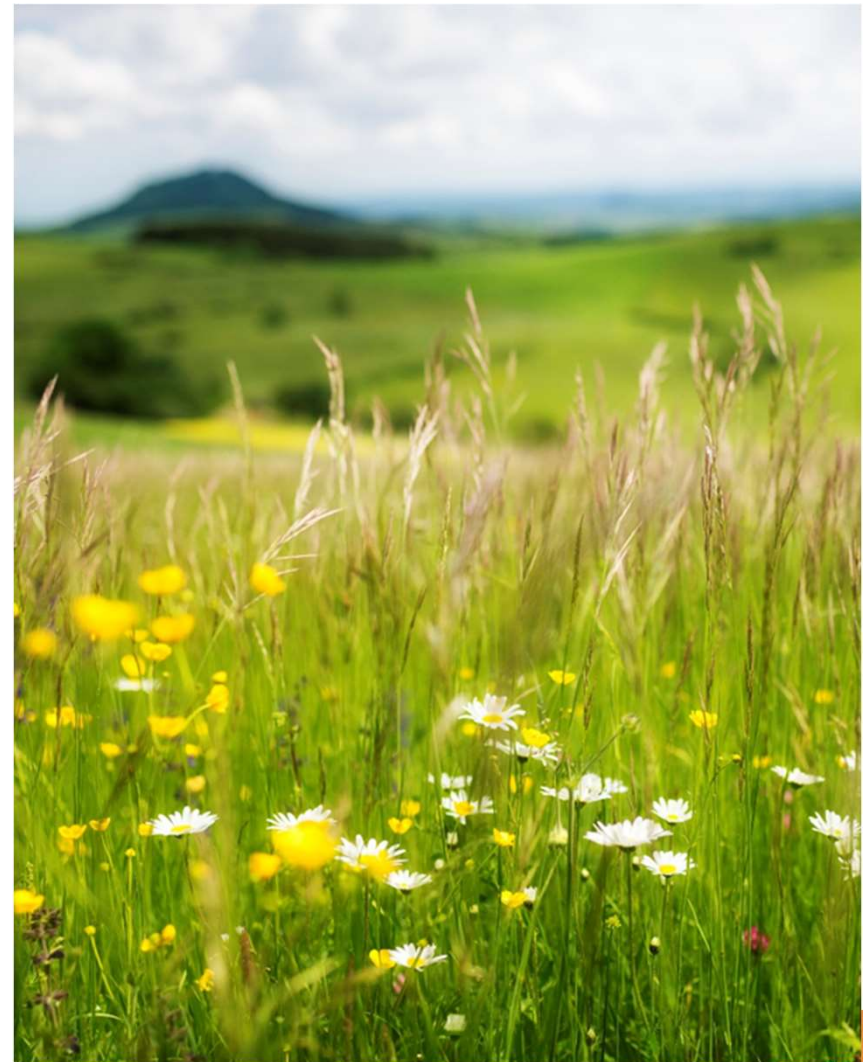
あたたかい社会

あたためあえる社会

やさしさあふれる社会

グリーンケアも認知症ケアも実現可能
さらにどんな苦難を抱えている人も出て
行きやすい、出て行きたくなる社会

**理想論かもしれないが、実現は
不可能ではないことを信じて、
これからも進んでいく所存！**



お寺の掲示板にかいた言葉

悲しみは
理解されることよりも
あたためられることを
求めている

『君の悲しみが美しいから僕は手紙を
書いた』より

ご清聴ありがとうございました

